

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、新津圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和3年11月22日（月）9時から11時まで
参加者	委員：8人 関係機関：10人
場所	可美協働センター1階 ホール
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長挨拶 可新生活支援体制づくり協議体会長</p> <p>3. 協議内容 テーマ：<u>地域にある高齢者のニーズについて</u></p> <p>①前回の会議の振り返り 生活支援コーディネーターより、前回会議の報告書をもとに第1回会議の内容について報告した。</p> <p>②他市町の住民送迎サービスの事例について共有（NHK 住民送迎サービスについて） ＜共有の経緯について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員より共有の経緯を説明。 NHKの番組で、住民送迎サービスについて取り上げられていた。 この番組の内容は生活支援体制づくりに関わってくるものではないかと感じ、他の委員にも共有できたら良いのではないかと思ったため、番組を録画した。 その後、市社協に協議体で共有してはどうかと提案し、本会議にて録画した映像を放映することになった。 ・住民送迎サービスについて取り上げた番組の映像を放映。 ＜内容＞ <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県新城市の住民送迎サービスについて ・三重県菟野町のコミュニティバスと乗り合いタクシーについて <p>※「交通空白地有償運送」や「それぞれの仕組みの運営や内容」について補足で説明を加えた。 交通空白地有償運送の仕組みは、“交通空白地”として地域公共交通会議で認められなければ活用は難しい。 新津地区や可美地区では、地元のタクシー会社などと協力して仕組みづくりをしていく必要があるのではないかと。</p> <p>③訪問した地域の様子について紹介（可美地区増楽町） 生活支援コーディネーターより、パワーポイント資料を用いて可美地区増楽町の様子について報告。</p>

	<p>④各地区の高齢者のニーズについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターより、ニーズ調査の結果をまとめた資料の見方とマイマップについて説明。 ・各地区に分かれてグループワークを行った。 可美地区のテーマ：居場所の課題について 新津地区のテーマ：買い物の課題について <p>4. 次回の協議体会議の日程について 日時：1月27日（木）9：30～11：00 会場：新津協働センター2階 ホール</p> <p>5. 連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市社協地域支援課より 安全運転講座についてお知らせ <p>6. 閉会 可新生活支援体制づくり協議体副会長</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>今回の会議では、民生委員・児童委員と元気はつらつ教室利用者を対象に実施したニーズ調査の結果を共有し、そこから見える地域の課題について意見交換を行った。</p> <p>可美地区では“居場所”について、新津地区では“買い物”について協議したが、両地区に共通する方向性として、“居場所を活用した買い物支援”を考えていくのも良いのではないかと感じた。</p> <p>今後の協議体会議や地域支援のなかで具体的に検討を進めていきたい。</p>